

「令和4年度 総社市市民提案型事業」

寄付月間祭り 2022



公益財団法人みんなでつくる財団おかやま

目次

1. 事業概要

2. 事業内容・成果

- ・ お金と寄付、事業計画の教室
- ・ 寄付月間祭り2022
- ・ 企画・運営マニュアル

3. 今後の取り組み

1. 事業概要

1. 事業概要

②目指すべき社会・状態【事業の目的】

- ・ 市民のNPO活動への興味関心が高まり、積極的に関わっていける環境整備
- ・ 寄付によるNPO活動の資金安定化と発展
⇒ 地域活動を地域全体で盛り上げていく！地域力向上！

④事業実施により期待される成果

- ・ NPO活動の周知
- ・ 寄付を身近に感じるきっかけづくり
- ・ 地域交流・意見交換の場の提供

⑤事業実施後のビジョン

- ・ NPO活動への共感・応援の波及
- ・ 困ったときに助けを求められる人間関係の構築

③今回の実施事業

『寄付月間祭り2022』

①事業の実施背景、地域課題【現状の認識と課題】

- ・ 様々なNPO活動によって地域が支えられているが、その認知度は限定的であり、活動資金に苦勞している団体も多い
- ・ コロナの影響による地域間交流の希薄化

1. 事業概要

■ 「寄付月間～Giving December～」とは・・・



『欲しい未来へ、
寄付を贈ろう。』

NPO、大学、企業、行政などで寄付に係る主な関係者が幅広く集い、寄付が人々の幸せを生み出す社会をつくるために、協働で行う**全国的な寄付啓発キャンペーン**として2015年からスタート。

12月1日から31日までを「寄付月間」とし、
寄付を受け取る人も寄付をする人も、あらためて**寄付の大切さや役割について考え、行動するきっかけを提供**している。

みんつくは「寄付月間」の**賛同パートナーに加盟**しており、今回の事業はこの活動の一環（自主企画）として取り組むものである。

1. 事業概要

寄付月間 企画特別賞
『地域賞』受賞！

全国各地で開催された160件以上の「寄付月間賛同企画」
の中から、「寄付月間祭り2022」が
企画特別賞『地域賞』を受賞しました！



1. 事業概要

① お金と寄付の教室（8月2日@FLCB）

★：期待できる効果

② 寄付月間祭り（12月11日@FLCB）

【中学生】駄菓子屋
【高校生】出店

- ★お金の流れや寄付の勉強・体験
- ★地域の人との交流



【地域の方】
創作物販

- ★地域の人との交流

【参加者】地域の方々
(子ども～お年寄りまで)
★お金や寄付の勉強・体験
★NPO団体等の活動を知れる
★地域の人との交流

利益は寄付

利益は寄付

【NPO団体等（当団体*含む）】

- ・寄付商品販売、募金箱設置
- ・ブース設置
- ★活動PR、資金集め
- ★活動PR、地域の方との意見交換

2. 事業内容・成果

お金と寄付、 事業計画の教室

お金と寄付、事業計画の教室

【実施概要】

日時：2022年8月2日(火)
10:00~12:00

場所：FLCB

参加者：高校生 9名
高校教諭 2名



- ⇒ 参加者の内、2名は、「寄付月間祭り2022」で駄菓子販売を出店。一緒に企画から運営、振り返りまで実施。
- ⇒ 他の参加者7名についても、祭り前日と当日、運営ボランティアとして参加し、お金や寄付の流れを体験。

寄付月間祭り2022

寄付月間祭り2022

■ 『寄付月間祭り2022 実行委員説明会』開催

日 時 : 2022年9月15日(火) 17:00~18:00

場 所 : F L C B + オンライン

参加者 : 7名 (高校生2名、大学生3名、社会人2名)

内 容 : 12月のイベントに向けて、実行委員募集説明会を開催。
企画の主旨説明や関わり方等について説明し、
意見や希望を聞く会とした。



寄付月間祭り2022

■活動実績

- ・ 日 時 : 2022年12月11日 (日)
10:00 ~ 17:00
 - ・ 場 所 : F L C B
(総社市中央2丁目2-8)
 - ・ 参加者 : 来場者 約 200名
ボランティア 33名
(内、学生 23名)
 - ・ 寄付額 : 106,754円 (※)
- ※会場全体での売上金135,734円の内、
非営利団体の売上・寄付になった金額

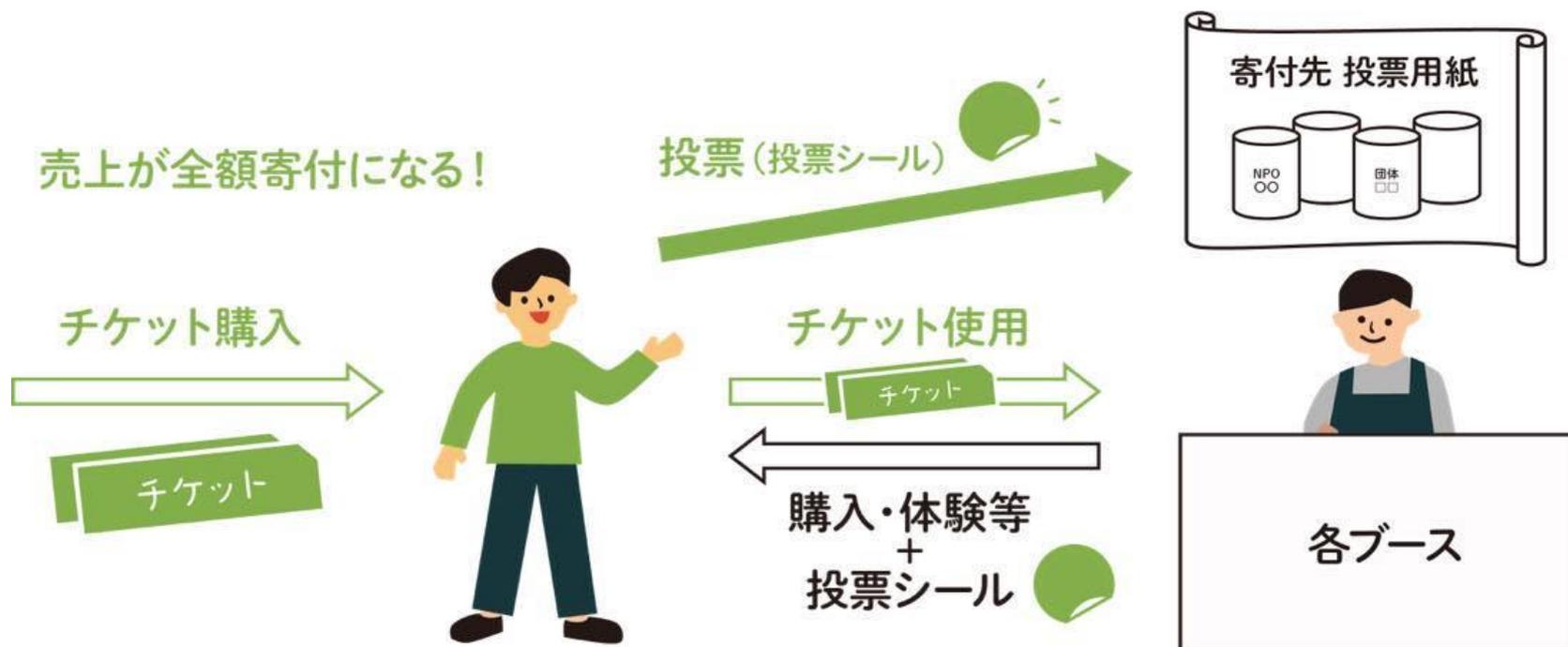


寄付月間祭り2022

■寄付の仕組み① 共通チケット

①共通チケットで遊ぶ。

②寄付先を選んで、シールで投票！

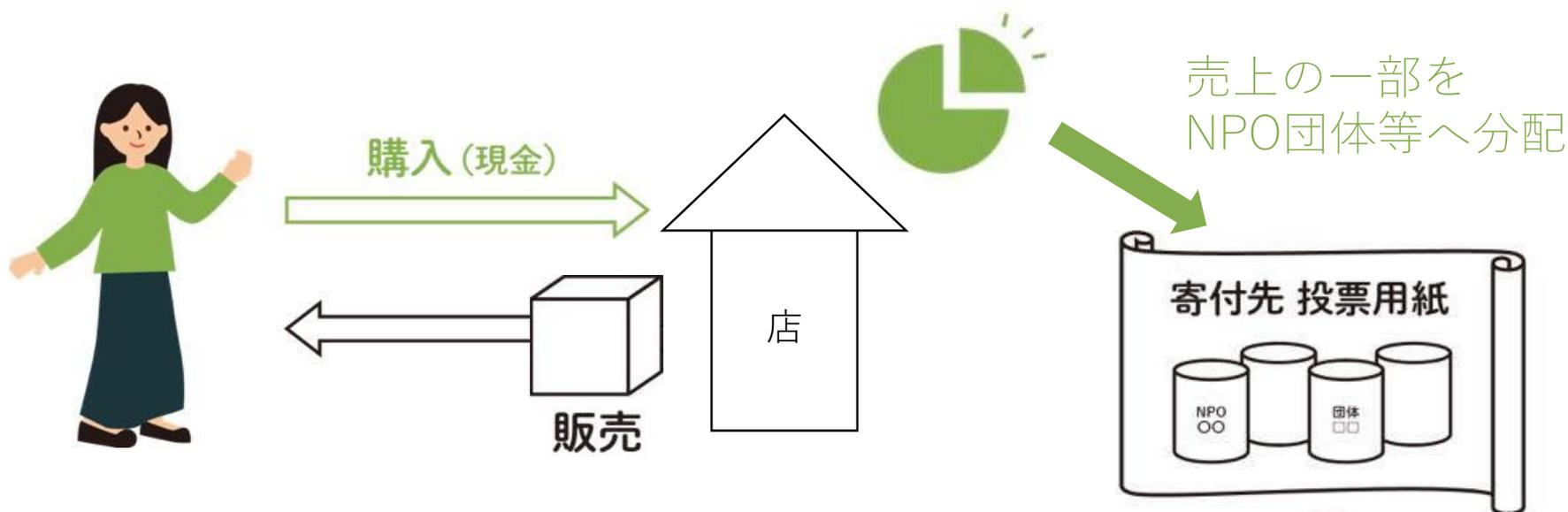


寄付月間祭り2022

■寄付の仕組み② 寄付付き商品

商品を購入したら、

その売上の一部（または全額）がNPO団体の応援に！

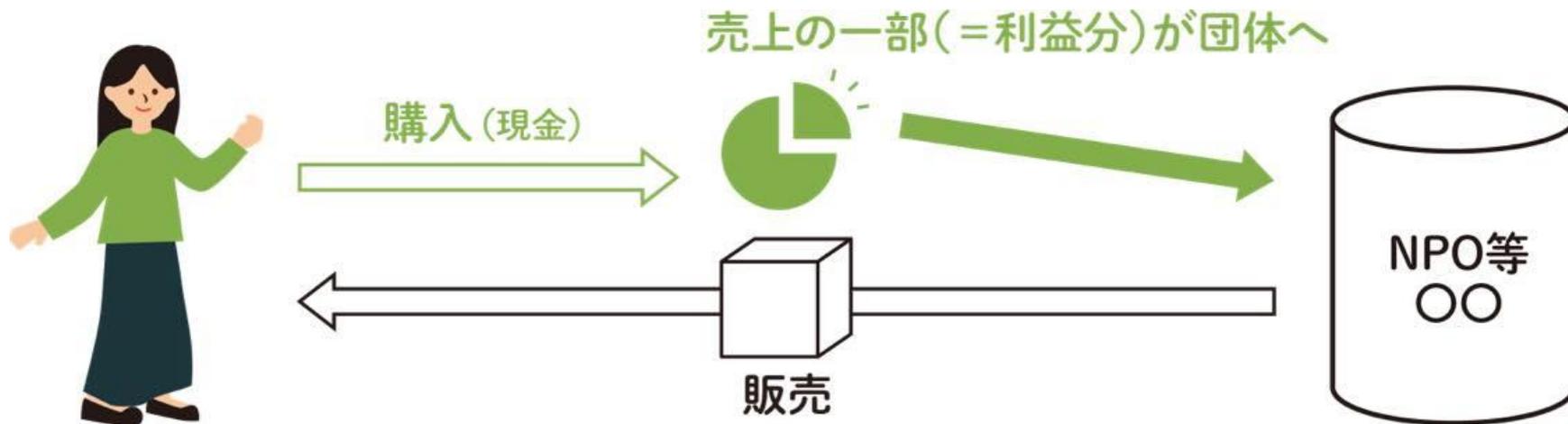


寄付月間祭り2022

■寄付の仕組み③ 寄付付き商品（NPO団体）

商品を購入したら、

その売上の一部（利益分）が販売団体の応援に！



寄付月間祭り2022

■寄付の仕組み④ チャリティーオークション

寄付（出品）いただいた商品・作品に対して、
参加者が購入希望金額を投票。

イベント終了時に、最高額での購入希望者が購入でき、
売上の一部（または全額）がNPO団体の応援に！

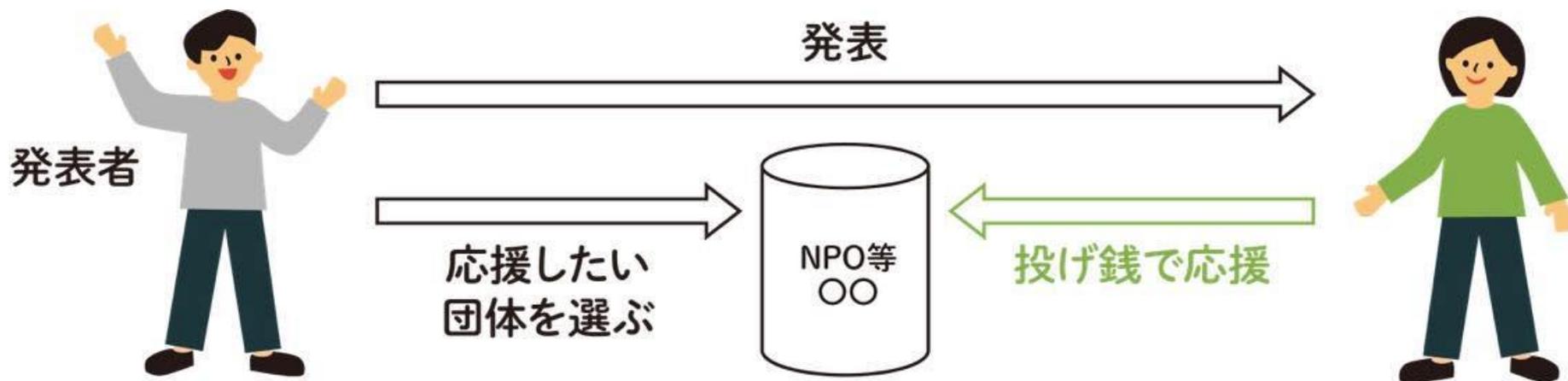


寄付月間祭り2022

■寄付の仕組み⑤ 投げ銭

発表に対して投げ銭で応援！

集まった募金（＝投げ銭）が、
発表者の応援したい団体への寄付に！



寄付月間祭り2022

■実施企画（NPO活動紹介展示・寄付先投票）



寄付月間祭り2022

■実施企画（出店・販売）

【開催内容】

- ・ 駄菓子
→高校生が企画・販売（お金の勉強）
- ・ NPO寄付付き商品等
- ・ チャリティーバザー
- ・ 大学生の美術作品展示・販売
- ・ 地元品：地元の方の手作り商品を販売
- ・ 飲食物



寄付月間祭り2022

■実施企画（ステージ）

【開催内容】

- ・ NPO団体による活動紹介
- ・ 高校生 音楽発表
- ・ 片岡市長 生演奏
- ・ ストリートピアノ
- ・ けん玉日本チャンピオン演技
- ・ eスポーツ大会



寄付月間祭り2022

■実施企画（体験）

【開催内容】

- ・ 寄付ストーリー募集
- ・ 貯金箱づくり（キット）
- ・ 縁日（射的・ボーリング）
- ・ けん玉教室



寄付月間祭り2022

■企画参加・連携団体一覧 (五十音順、敬称略)

- ・ うわいあやか (作家)
 - ・ 一般社団法人 ON-DO
 - ・ 岡山県立大学学生 (作品寄付)
 - ・ 岡山県立総社南高校 (Little Action Lots of Reuse プロジェクト)
 - ・ 岡山城東高校学生 (ステージ発表)
 - ・ そうじゃ食堂 くうねるあそぶ
 - ・ NPO法人 そーる
 - ・ 学生団体 TAMAGO
 - ・ 一般社団法人 TOCOL
 - ・ 認定NPO法人 ペアレント・サポートすてっぷ (倉敷)
 - ・ NPO法人 保育サポート「あいあい」
 - ・ 公益財団法人 みんなでつくる財団おかやま
- (ボランティア) 岡山県立大学、総社高校、総社南高校、総社東中学校 など

他、市民の方、ボランティア 等多数

企画・運営マニュアル

企画・運営マニュアル

～ 目 次 ～

1. 企画概要
2. 全体スケジュール
3. 寄付の仕組み
4. 企画案
5. 運営上の留意事項
6. (参考) 実施例

寄付月間祭り 企画・運営マニュアル

欲しい未来へ、寄付を贈ろう。



第1版 2023年3月編集



公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share Foundation

企画・運営マニュアル

2. 全体スケジュール

月 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

スケジュール

計画立案

実行委員立ち上げ、企画決め

▶▶▶▶
広報・準備

「お金と寄付、事業計画の教室」開催

企画参加者募集（声掛け）

▶▶▶▶
広報・準備

「寄付月間祭り」開催

振り返り会、マニュアル更新



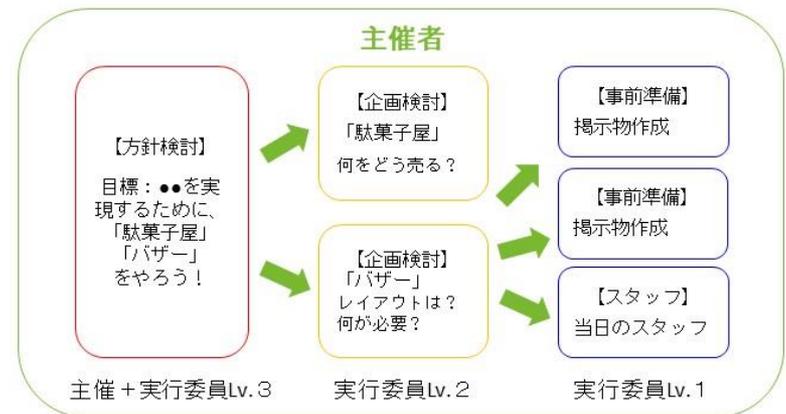
☆point 仲間集め

- ・関わり方は人それぞれ。希望に合う形で参加できるように、関わり方を複数種類用意する。
- ・関わる人にとってメリットを感じられる内容に。してもらえること、やらなくてもいいことを明示することで、共通認識をもつ。
- ・連絡方法や集まる日時等、それぞれの都合を確認、調整。（運営側に負担が少ないやり方で、より効果的な方法を検討）

～関わり方イメージ（例）～



- レベル1 : 事前準備や当日運営の手伝い
- レベル2 : 決められた企画に対して、運用等を考えながら企画を作る
- レベル3 : 打合せに参加して、企画・運営の方針について考える



企画・運営マニュアル

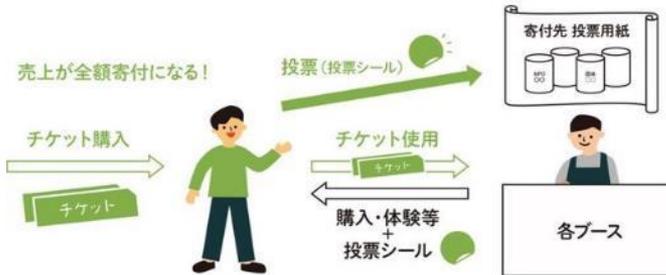
3. 寄付の仕組み

各企画に応じた、寄付につながる仕組みを用意。
お客さんにお金の流れを理解した上で購入等していただくよう、
あまり複雑にしないこと、それぞれお金の流れや寄付先を明記すること、を心掛ける。

仕組み① 共通チケット

[寄付の仕組み]

- ①来場者は会場で使える共通チケットを購入
- ②チケットを使って、商品購入や緑日、ワークショップ体験等
- ③チケット1枚につき、シール1枚と交換
- ④NPO活動紹介ブースで応援したい活動(=寄付先)を選ぶ
- ⑤④で選んだ団体へシールを投票
- ⑥各団体の投票数に応じて、イベントの売上を寄付として分配



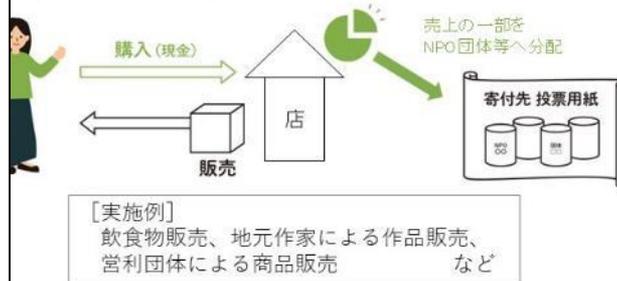
[実施例]
チャリティバザー、緑日、eスポーツ大会、
ワークショップ など

仕組み② 寄付付き商品

寄付の仕組み]

- ①出品者と相談の上、寄付割合と寄付先を決定。
例) 売上げの20%を「寄付月間祭り」へ寄付。

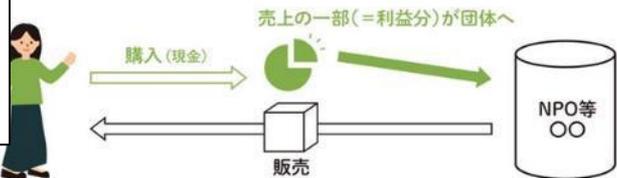
- 以下、寄付先が「寄付月間祭り」の場合)
- ②イベント終了後、1日の売上総額を確認(自己申告)し、
①の割合に応じた金額を寄付していただく。
 - ③共通チケット購入者の寄付先投票結果に応じて、
寄付金を分配する。



仕組み③ 寄付付き商品 (NPO団体)

寄付の仕組み]

- ①NPO団体等による寄付付き商品販売
- ②売り上げは直接団体へ
= 売上げの一部(利益分)が団体の応援になる



チャリティオークション



寄付(出品)いただく。
売上の寄付先を指定してもらおう。
場合は、「売上金の〇%を寄付」でもOK。
(※売上への寄付先も明記)する。
買いたら、購入希望金額と連絡先を書いて応募。
「寄付月間祭り」の最後に、会場でオークション形式で販売。
①の応募金額の中での最高額を開始値とし、
最高額での購入希望者を募る。
購入希望者に、購入(寄付)していただく。
寄付者が指定したとおり。

チャリティバザーの高額商品、
作品展示・販売、著名人のサイン など

投げ銭(ステージ企画)

発表者は、ステージ前に自分が応援したい
団体を設置
感動したお客さんは、①の募金箱へ投げ銭
(投げ銭)が、応援したい団体への寄付に
発表者の実現したい未来への一歩に!



企画・運営マニュアル

4. 企画案

※ [] 内の数字は「3. 寄付の仕組み」

- ・寄付ストーリー募集・展示
- ・NPO活動展示、寄付先投票
- ・チャリティーバザー [寄付の仕組み①]
- ・縁日 [寄付の仕組み①]
- ・eスポーツ [寄付の仕組み①]
- ・飲食物販売 [寄付の仕組み②]
- ・ステージ [寄付の仕組み⑤]

『NPO活動展示、寄付先投票』

①企画概要・目的
(企画概要)
地域活動団体に団体や活動の展示・紹介をしてもらう。来場者は、地域活動やその支援者と出会い、応援したいと思った活動にシールを投票する。
(目的)
・地域の方(来場者)に、地域活動について知ってもらい、応援したい団体と出会う場の提供
・応援したい団体に投票することで、「自分の欲しい未来に寄付を贈る」体験をしてもらう

②お金の流れ
・共通チケットを購入する。
・共通チケットを使って、会場内で商品購入やワークショップ体験等をする。
・共通チケット1枚につき、投票シールを1枚配布(引換)。
・展示や紹介を見て、応援したい団体を選び、投票用紙に投票する。

③運営ルール・アドバイス等
・共通チケット使用後に、投票用紙へ立ち寄りやすい導線とする。
・NPO活動への理解を深めてもらえるよう、展示コーナーには全団体の説明ができるスタッフを常時配置して、積極的な声掛けを行う。
・1人でも多くの方に投票してもらえるよう、各所で誘導する。

④タスク (企画実施までの流れ)

運営側で発表内容を検討 → ステージ発表者をリストアップ → ステージ発表希望者の呼びかけ → プログラム作成

↑ 寄付先投票用紙

展示』
て考えてもらうきっかけに、寄付をした・もらったお礼は何でもOK! 展示・紹介する。

的にお金は動かないスキームと

(任意)
ャルライター講座の実施

募集呼びかけ → SNSで作品紹介・募集 → 寄付月間券発行・作品紹介 → 募集締め・お礼連絡

3. 今後の取り組み

3. 今後の取り組み

新しい地域のお祭りとして
2023年以降も継続予定！



⇒ 「422人マラソンリレー」や「募金箱設置」など、
『寄付』を身近に感じてもらえるよう
取り組んでいきます！



参加者募集中！

ご清聴
ありがとうございました！

